



学校だより 令和8年2月号

[文蔵小ホームページ]

文蔵小通信

さいたま市立文蔵小学校



〒336-0025 さいたま市南区文蔵5-16-29
TEL 863-0721 FAX 836-1583

★毎日更新中★

「『文蔵』の愛を育てる」

校長 丸山 謙一

早いもので、令和8年も1カ月が過ぎ、まもなく2月です。今は大寒の時期で寒さもひと際厳しくなっています。体調には十分お気を付けのうえお過ごしください。

本校では、毎年11月頃に学校評価アンケートを実施しています。ただ今結果をもとに来年度に向けた改善案や対応策を検討しています。皆様の回答と意見を参考に、よりよい学校づくりを進めてまいります。まとめた内容は近々お示ししますのでご一読をお願いします。その中で毎年課題として挙がるのは「地域とのつながり」です。児童、保護者、教職員ともに「地域のためになることをしている」という内容の設問への肯定的回答が5～6割程度という結果になっています。

私が考える文蔵地区の特長として、「公園の多さ」が挙げられます。地図と自分の足で確認したところ、学区内だけで10か所もあります。他の地域を同様に調べたことはありませんが、この数は間違いなく多いです。昭和初期には74世帯しかなかった文蔵地区が、時代と共に開発が進む中で、子どもを大切にする街づくりが行われてきた証だと推察できます。子どもにとって幸せな環境です。

地域を知り、そして文蔵っ子が気持ちよく登校できるようにと、私は毎朝ごみ拾いを行っています。これは、地域の宝として子ども達を日頃から見守り、支えてくださっている地域の皆様への、ささやかな恩返し of 気持ちでもあります。神明社の夏祭りや夏休み中の夜間防犯パトロール、そして何より毎日登下校を見守っていただいているたくさんの防犯ボランティアの皆様など、文蔵っ子たちのためにいつもたくさんのお力添えいただいている地域の皆様に、改めて感謝申し上げます。

だからこそ、子ども達には感謝の気持ちを込めて、「笑顔であいさつ——おはようございます。さようなら。ありがとうございます。」を、相手の目を見て伝えてほしいと願っています。生きていくうえで、周囲のあらゆる人やものの恩恵を受けていることに気付く心、そして素直に感謝を伝えられる心を育むことが肝要と考えます。そのためには、まず一番身近な大人である私たち教職員、そして保護者の皆様が「範を示す」ことが極めて重要です。毎朝、旗振り当番の方が、子ども達だけでなく通勤中の大人の方にも明るくあいさつをされている姿にはいつも感銘を受けています。保護者の皆様にとっては「家族の宝」、地域と学校にとっては「地域の宝」である子ども達が、「日本の宝」として逞しく成長できるよう、今後ともよろしくお願いします。

さて、立春である2月3日には、文蔵神明社において節分祭が行われます。文蔵神明社は四百年以上の歴史をもつ文蔵地区の伝統そのものです。そこで行われる節分祭の盛り上がりは圧巻です。私が以前勤務していた際、初めて参加した時の光景は、今でも鮮明に思い出されます。境内に集まった多くの人々が、大人も子どもも夢中になって楽しめる行事は、現代において大変貴重で意義深いものです。子ども達もぜひ参加して、さらに地元である文蔵への地域愛を育てる機会にしてほしいです。